

新しい「マスクのつけ方」について

マスクをつける

- 校舎内で「会話をする」とき
- 校舎内で「2 m以内」にいるとき
- 校舎外で「2 m以内」で「会話をする」とき

マスクをつけなくてもよい

- 校舎外で「会話をほとんどしない」とき
- 校舎外で「2 m以上離れて」いるとき
- 校舎内で「2 m以上離れて」いて「会話をほとんどしない」とき

☆☆マスクをつけない☆☆ (熱中症等の予防のため、マスクをはずすこと)

- 体育の授業
- 運動部活中の運動時
- 登下校時

※自分で自分の身の安全を守れるようになることが大切。

「息苦しさ」や「しんどさ」を感じたら、マスクを取ることを。



【参考】国の「マスク着用」の基準は下表のようになりました。

	身体的距離(※)が確保できる ※ 2 m以上を目安		身体的距離が確保できない	
	屋内(注)	屋外	屋内(注)	屋外
会話を行う	着用を推奨する (十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可)	着用の必要はない 事例①	着用を推奨する	着用を推奨する
会話をほとんど行わない	着用の必要はない	着用の必要はない	着用を推奨する 事例③	着用の必要はない 事例②

(注) 外気の流入が妨げられる、建物の中、地下街、公共交通機関の中など
 ※夏場については、熱中症防止の観点から、屋外の「着用の必要はない」場面で、マスクを外すことを推奨。
 ※お年寄りやと会う時や病院に行く時などハイリスク者と接する場合にはマスクを着用する。

事例①
 ・ランニングなど離れて行う運動
 ・鬼ごっこなど密にならない外遊び

事例②
 ・徒歩での通勤など、屋外で人とすれ違うような場合

事例③
 ・通勤電車の中